1. 研究課題・受託者・研究開発期間・研究開発予算

◆研究開発課題名:高信頼データ流通のための非集中型ネットワーク内ストレージ及びアプリケーションの研究開発

◆副題 : 非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークを用いた

医療・ヘルスケア領域における高信頼データ流通アプリケーションの提案および実装

◆受託者 : (大) 大阪大学、(一社) 臨床医工情報学コンソーシアム関西

◆研究開発期間 : 令和6年度~令和7年度(2年間)

◆研究開発予算(契約額):令和6年度から令和7年度までの総額72百万円(令和6年度24百万円)

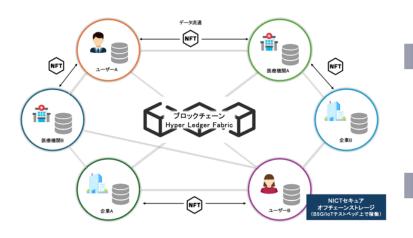
2. 研究開発の目標

ブロックチェーン技術を活用した非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークを開発し、医療・ヘルスケア分野の高信頼データ流通プラットフォームを構築する。IPFS、UCINC、NFTインデクサを統合して効率的データ検索とアクセス制御を実現し、PHRアプリケーションの実証実験を通じて医療情報の安全な利活用と医療サービス向上の可能性を示す。

3. 研究開発の成果

研究開発項目1: 非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークの 研究開発

NICTセキュアオフチェーンストレージの構成要素である非集中型ストレージ(IPFS)、セキュアネットワーク内ストレージ(UCINC)、およびAuthorityと連携した、NFTを活用した非集中型オフチェーンストレージフレームワークの設計と実装、および動作確認を行う。



研究開発項目1-1:非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークの設計

NFTとNICTセキュアオフチェーンストレージを組み合わせた高信頼なデータ流通フレームワーク設計を目標とし、Hyperledger Fabric上でのNFT実装およびスマートコントラクト設計を進めた。また、NICTセキュアオフチェーンストレージとのインターフェース設計を実施し、システム間連携の基盤を確立した。

研究開発項目1-2:NFTインデクサの開発・実装

複数機関のデータセンターおよびNICTセキュアオフチェーンストレージ内のデータを効率的に検索するためのNFTインデクサ開発を目標とし、検索インデックスのデータ構造設計と効率的なクエリ処理エンジンの設計を行った。また、メタデータ抽出処理の仕様検討を進め、次年度の本格実装に向けた基盤を整備した。

研究開発項目1-3:非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークの実装 および動作検証

非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークとインデクサの実装および次年度の本格的な動作検証準備を目標とし、開発環境構築とフレームワークコンポーネントの基礎実装を進めた。さらに、データ登録・取得機能およびアクセス制御機能の基本設計を完了させ、次年度の実装と動作検証に向けた体制を整えた。

4. 特許出願、論文発表等、及びトピックス

国内出願	外国出願	研究論文	その他研究発表	標準化提案・採択	プレスリリース 報道	展示会	受賞·表彰
0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※成果数は累計件数、()内は当該年度の件数です。

5. 今後の研究開発計画

研究開発項目1-3. 非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークの実装及び動作検証

設計済みの非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークとインデクサをテストベッド上に実装し、動作検証を実施する。この検証では、IPFSに保存したデータの取得要求から表示完了までの応答時間測定や、取得データと元データの比較によるデータ整合性の検証を重点的に行う。

研究開発項目2-1. 医療ヘルスケア領域におけるPHRアプリケーションの開発・実装

開発したフレームワークを基盤に医療・ヘルスケア領域におけるPHRアプリケーションを開発する。このアプリケーションには、カメラやウェアラブルデバイスからの健康情報登録機能、自身のデータ閲覧機能、第三者へのデータ提供のための公開範囲設定機能、NFTを活用したアクセス権発行機能、および第三者のデータ閲覧機能が実装される。

研究開発項目2-2. 高信頼データ流通アプリケーションの実証評価

約15名の参加者を対象とした実証実験を行い、健康情報の登録、データ公開範囲の設定、第三者によるデータ閲覧の各機能について評価するとともに、アンケート調査を通じてアプリケーションのユーザビリティと受容性を評価する。これら一連の研究開発を通じて、ブロックチェーン技術とスマートコントラクトを活用した非集中型ネットワーク内ストレージフレームワークの実用性を実証し、医療・ヘルスケア分野における高信頼データ流通プラットフォームの実現可能性を明らかにすることを目指す。